

福祉の仕事の魅力向上・発信

ー世田谷区福祉人材育成・研修センターの取組みからー

社会福祉法人世田谷区社会福祉事業団
世田谷区福祉人材育成・研修センター
富樫 恵

(人材確保 福祉の理解 魅力発信)

1. 目的

世田谷区福祉人材育成・研修センター（以下、研修センターという）のミッションである福祉人材確保・育成・定着支援を推進する基礎資料とするために、世田谷区福祉事業所実態調査を実施し、その調査結果等を踏まえ「福祉の仕事の魅力向上・発信」に関する様々な取組みを行っている。取組み状況について報告するとともに、世田谷区内の福祉人材の確保・育成・定着支援を着実に推し進めるための課題や今後の方向性について考察する。

2. 取組み内容と結果

(1) 令和元年度

①世田谷区内福祉事業所の実態調査を実施

調査概要：対象/区内の高齢者・障害者・子どもの3分野、約1600事業所
有効回答数 831件 回収率 52.3%

調査結果：区内従事者数13,569人アンケート回答(23,000人、回答率より推計)
高齢者・障害者分野では従事者「10人未満」の事業所の割合が高い
(高齢者分野 51.4%、障害者分野 38.9%)

職員の過不足については、62.9%が「不足」を感じ、人材確保の課題として、「求める人材や必要な資格保有者の応募が少ない」と56.9%が回答

②調査・研究テーマ「福祉の仕事の魅力向上・発信」にむけた検討

「世田谷区福祉事業所実態調査」の結果や世田谷区の現状、他自治体等の先駆的な取組みに関する情報、研修センター運営委員会の意見などを踏まえ、福祉人材の確保・育成・定着支援を総合的に展開し、福祉の仕事の魅力向上・発信、「福祉職員が誇りや意欲をもって働き、誰もが安心して住み続けられる地域づくり」に取り組む。

(2) 令和2年度

①「福祉の仕事の魅力向上・発信」に向けた取組みを推進するための事業所アンケート調査

調査概要：対象/高齢・障害分野 80事業所
有効回答数 55件 回収率 68.8%

アンケート回答：「将来を担う子ども世代への理解促進」(61.8%)、「区民への理解促進」(45.5%)、「高校生介護施設体験」「子育て終了、定年退職後の方への働きかけ」「福祉のしごと相談・面接会、出前講座」(各々30.9%)であった。

②「福祉の仕事の魅力向上・発信」に向けた主な取組み

